

令和 7 年度 7 月定例記者会見 次第

日時：7 月 28 日（月）10 時 30 分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK 福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

- | | |
|---|-----------------|
| ①令和 7 年糸島市議会第 2 回臨時会提出議案 及び
令和 7 年度補正予算の概要について | 【市長発表】
財政課 |
| ②全国で活躍する「プロ人材」が市内商工業者 10 社
を伴走支援 | 【市長発表】
商工振興課 |
| ③深江石町遺跡における「櫛」の出土について | 【市長発表】
文化課 |

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：8 月 25 日（月）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

令和7年糸島市議会第2回臨時会提出議案について

- ☆ 8月1日に開会予定の糸島市議会第2回臨時会に付議する議案を、7月23日に送付いたしました。
- ☆ 案件といたしましては、議案第73号「令和7年度糸島市一般会計補正予算（第4号）」を提案させていただくこととしております。

※提出議案 1件

◇ 補正予算〔1件〕

令和7年度糸島市一般会計補正予算（第4号）

- ☆ 議案の内容といたしましては、

●補正予算（1件）

【財政課】

議案第73号 令和7年度糸島市一般会計補正予算（第4号）

- ※ 今回の補正：4,101万3千円を追加し、予算総額518億819万2千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

◆問合せ先

総務部 総務課 （担当：久我）

TEL 323-1111（代表） 内線1210

332-2100（直通）

令和7年度一般会計補正予算(第4号)の概要 (令和7年 第2回臨時会)

■一般会計補正予算(第4号)

補 正 額 4,101万3千円の追加

補正後予算総額 518億819万2千円

今回の補正予算は、国の令和7年度一般会計予備費の使用決定に伴い、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける市民や事業者に対し、必要な支援を行うための予算を計上します。

財源は、国庫支出金で対応することとしています。

<補正予算に係る事業>

() は、所管課

【歳出】

7 款 商工費

◆P10～11 プレミアム付商品券事業費 2,259万8千円

○市民の消費生活を切れ目なく支援する観点から、総額1億3,000万円の消費者向けプレミアム付電子商品券(プレミアム率30%)の発行を追加支援するため、糸島市商工会に対し、必要額を補助します。

○プレミアム額を除く額：1億円

○プレミアム額：3,000万円(負担額内訳／糸島市 2,000万円、福岡県 1,000万円)

○事 務 費：259万8千円

○予算額内訳：プレミアム額の市負担分2,000万円、事務費259万8千円

○財 源：国庫支出金

(商工振興課)

10款 教育費

◆P10～11 小学校給食事業費 1,254万4千円

○給食費に係る保護者負担を増加させることなく、適切な栄養バランスと量を保った学校給食を実施するため、各学校における学校給食会に対し、物価高騰相当分を補助します。このことによって、保護者にとっては現在実施されている学校給食費20%減額が維持されます。

○一食当たり給食費（基礎額）：244円

○物価上昇率、物価上昇影響額：6.8%、一食当たり16円

○対象児童数：6,353人（5/1現在児童数）

○給食数：122食（令和7年8月～令和8年3月）

○財 源：国庫支出金

（学校教育課）

◆P10～11 中学校給食事業費 587万1千円

○一食当たり給食費（基礎額）：290円

○物価上昇率、物価上昇影響額：6.8%、一食当たり19円

○対象児童数：2,882人（5/1現在生徒数）

○この外は、上記の小学校給食事業費と同様。

（学校教育課）

【歳入】

15款 国庫支出金

◆P8～9 国庫補助金 4,671万8千円

○国による予備費の使用決定に伴い、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を増額します。なお、予算額4,671万8千円のうち570万5千円については、当初予算に計上している小学校給食事業費及び中学校給食事業費の財源として活用します。

（財政課）

19款 繰入金

◆P8～9 基金繰入金 ▲570万5千円

○財源更正のため、ふるさと応援基金繰入金を減額します。

（企画秘書課）



定例記者会見資料
令和7年7月28日
経済振興部商工振興課

全国で活躍する「プロ人材」が市内商工業者を支援 副業プロが10社とマッチング、支援スタート！

市では、経営課題の解決やステップアップを目指す「商工業者」と、専門的な知見・経験を持つ「プロ人材」を結び付け、課題解決から事業成長までを一緒に進める「副業プロ人材を活用した伴走支援事業」を実施しています。令和7年度は、10社がこの事業に取り組むことが決定。各社の挑戦に、販路拡大や広報PRなどのプロが伴走し、成長を後押しします。

令和7年度取り組み事業者（カッコ内は、「プロ人材」と一緒に取り組む内容）

※別紙①

- （株）チアアップ（若年層をターゲットとしたマーケット分析）
- 糸島手造り工房爽風（SNSを活用し、店舗を効果的にPR）
- （有）塚本鮮魚店（ECに特化した販売戦略の策定）
- かわぞえ農園（自社栽培トマト商品の販路開拓）
- （株）tracks（ジビエの販路開拓）
- 伊都コミュニティネット（アスリート向け携行フードの分析・開発）
- （有）北伊醤油（自社製品を関東圏に開拓）
- （株）アクアグローバルフーズ（人事評価制度の構築）
- （株）Hisher（バターを使った新商品開発）
- 糸島酒販協同組合（自社ブランド焼酎の販路開拓）

取り組み事業者の詳細はこちら



糸島市 プロ人材



副業プロ人材とは

本業以外に自身の専門的な経験・知識・スキルを活かして副業を行うプロフェッショナルを指します。主に販路拡大、広報PR、各種業務改善、人事・採用などの分野で、コンサルティング力やマーケティング力に優れた人材です。各分野の第一線で活躍しつつ、自分のスキルを他の企業やプロジェクトに提供します。

国は「副業・兼業の促進に関わるガイドライン」を策定し、全国的に副業人材の活用を促進しています。また、働き方の多様化やリモートワークの普及も進み、「プロ人材の副業」が増加しています。

経緯・課題

市内商工業者のおよそ9割が従業者数20人以下の小規模事業者であり、経営者1人で何役も担うようなケースが多く、多忙により経営判断が遅れ成長のチャンスを逃しているといった課題があります。

また、商工業者が持つ課題をプロ人材が解決する事例が全国で創出され、プロ人材を地方の商工業者が活用するモデルが年々広がりつつありますが、市内での活用事例は少なく「活用のノウハウ」を、商工業者も商工業者を支援する商工会も持ち合わせていません。

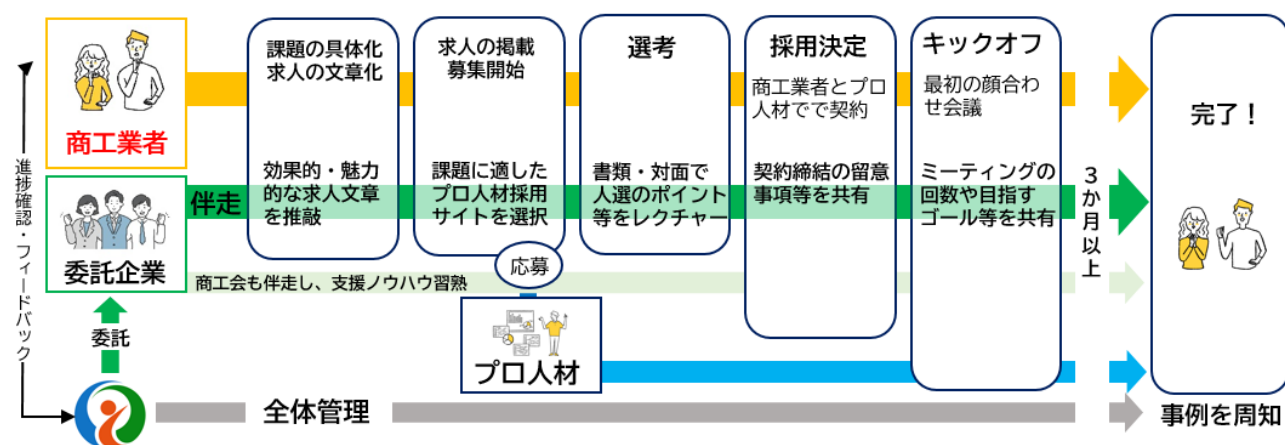
事業内容

商工業者の課題や、新たにチャレンジしたい内容を抽出し、解決に導くことができるプロ人材が多く閲覧するプラットフォームに掲載します。

プロ人材から応募が来れば、商工業者のニーズとマッチするプロ人材を選択し、プロ人材と商工業者が契約を締結します。

その後、キックオフミーティング後は、課題解決に至るまでプロ人材と商工業者が一定期間取組めます。

市が委託した企業は、上記の一連の流れを商工業者に伴走する形で支援します。



市のねらい・目標

- 年間市内商工業者 10 社で実施し、市内にプロ人材の副業活用の成功事例を 3 年間（令和 6 年度～8 年度）で 30 事例創る計画です。
- 市内事業者の成長に繋がる新たな手法である「プロ人材の活用」を市内商工業者に経験いただきます。
- この期間に、委託企業の伴走支援ノウハウを糸島市商工会が習得し、将来的には商工会が独自で支援できるようになることを目指しています。
- 上記目標の達成に向けて、市は成果等を積極的に発信することで、市内に「プロ人材の活用」を浸透・定着させます。

令和 6 年度実施した事業者の声

別紙②を参照ください。詳しい内容は直接事業者にお問合せください。

委託先情報

株式会社カルビン 代表取締役 東 慶親
東京都港区南麻布 3-20-1 Daiwa 麻布テラス 5 階

【問い合わせ先】

糸島市 経済振興部 商工振興課 商工労働係 担当：古屋 中村
電話番号：092-332-2096
メール：shokoshinko@city.itoshima.lg.jp

事業者1 株式会社チアアップ



カフェと民泊を併設。今後20～30代の若年層への集客に力を入れるため、ターゲットを明確にした戦略的なアプローチをしたい。マーケティングやSNS活用、新商品開発を積極的に推進し、カフェと民泊の魅力を最大限に発信して売上アップを目指したい。

事業者3 有限会社塚本鮮魚店



鮮魚の卸売と飲食店を営んでいる。現在、ECサイトの集客や購入率に課題があり、従来の広告施策だけでは限界を感じている。プロ人材の力を借りて、戦略的マーケティングと地域資源を活かしたブランディングに取り組み、売上拡大を目指したい。

事業者5 株式会社tracks



ジビエの加工・販売と飲食店を運営しており、東京圏の高級卸業者や百貨店、高級飲食店への販路拡大を目指すため、地域性やストーリーを活かした販売チャネルの構築を含め戦略的な販路拡大とジビエの価値向上に取り組むたい。

事業者7 有限会社北伊醤油



関東・関西の本物志向の消費者に向け、伝統製法で「純もろみしょうゆ」を開発したが、新規販路開拓の人手やノウハウが不足で遠方への魅力発信が課題。販路開拓のプロ人材と連携し、128年の伝統を未来につなぐ全国展開に挑戦したい。

事業者9 株式会社Hisheri



ドレッシング事業で培ってきた品質へのこだわりと地域への愛着を活かし、「バターを使った焼き菓子」の商品開発が次の挑戦です。菓子業界経験豊富なプロ人材と共に、唯一無二のオリジナルバターを軸に展開するブランド力のあるメーカーを目指したい。

事業者2 糸島手造り工房爽風



糸島産食材を使い、無添加・手作りにこだわった食品を製造・販売しファンを増やしているが、SNSの活用が弱く発信力に課題があるため、集客につながるブランディングやSNS運用を強化し、プロ人材とともに糸島の魅力を発信していきたい。

事業者4 かわぞえ農園



生産する高糖度トマトを、関東圏の百貨店や高級店への販路拡大を目指しており、営業・販路開拓に強いプロ人材の力を借りて、戦略的な展開を図りたい。

事業者6 伊都コミュニティネット



農産・添加物不使用やフードロス削減に取り組み、「いとしまジャム」を製造・販売中。今回新たに「米×大豆×甘酒」を使ったアスリート向け携行フードの開発を計画しており、発酵や栄養設計に詳しいプロ人材と連携し、実践したい。

事業者8 株式会社アクアグローバルフーズ



ブランド牡蠣の養殖・卸売・直営牡蠣小屋の三部門を運営している。成果に応じた報酬制度を全社に浸透させたいものの、部門で成果が異なり評価が困難であるため、人事制度設計のプロ人材の支援を受け、新たな報酬制度の構築と運用を目指したい。

事業者10 糸島酒販協同組合



地元産の紅あずまや酒米を使った芋焼酎・純米酒を製造し、組合に加入している26店舗を通じて販売している。発信力を含めた販路拡大が課題で、マーケティング戦略の立案・実行を担うプロ人材と一緒にブランド焼酎・日本酒を広げたい。

株式会社イトキュー ～運送業界の人材確保～

物流事業を最大化させたいが、”物流の2024年問題”もあり、ドライバーの人材不足と人材獲得の難易度は全国規模での課題となっている。

そのような中で、中長期的な視点での採用戦略と新たな採用活動は必須となっているため、「人事・採用のプロ」と連携して、20代のドライバーの確保を可能とする採用戦術を構築しスタートさせたい。



プロ人材Aさん



採用難易度の高い介護業界の事業会社の事業部長として、多様な手法を活用した採用戦略で人材確保の実績あり。

過去の成功実績を活かしアナログ&デジタルを駆使し令和の時代にあった採用活動の支援が可能。

プロ人材と進めた成果

- ・求人広告の内容を見直し、自社の魅力や作業内容をわかりやすく掲載。
- ・週ごとにアクセス数を検証し、掲載内容を変更することで、求人の閲覧数そのものを各段に向上させることができた。
- ・始めたころは、閲覧数が週数件だったのが、最終的には200件の閲覧数に向上し、正規採用に繋がった。

(株)イトキュー 担当 砂川 092-322-1741

株式会社やました ～新たな経営の方向性確立～

創業126年、呉服屋から婦人服・カフェ・サブリ販売等、手広く事業展開している。強みである商品目利き力と既存顧客とのつながりを活かし、事業全体のリブランディング含めた経営の方向性を、「企画経営戦略のプロ」と検討し推進していきたい。



プロ人材Bさん



老舗大手百貨店で衣料品バイヤーやセールスマネージャーを歴任された。

顧客心理を踏まえた商品・サービスを伝えることをポリシーとして多くの実績に貢献してきた経験を持つ。

プロ人材と進めた成果

- ・新たな企画経営の前に、業務の棚卸しと業務の優先度等、道筋を固めることとした。その中で以下を整理し取り組みを進めた。
- ・ホームページの改善の整理
- ・小売店舗としての効果的な展開改善
- ・営業計画の細分化等の助言を経て、細かな営業計画を立てることで成果が。
- ・現在も契約を続けており、何かあったら、気軽に聞くといった信頼関係を築いている。

(株)やました 担当 田之上 092-322-0151

株式会社SIMCLEAR ～ビジネスバックの海外販路拡大～

オリジナル鞆の企画販売しているが、今後「糸島から世界へ!」をテーマに、海外販路を切り拓いていきたいと考えている。

その海外販路拡大のため、経験豊富な「海外販路開拓のプロ」と戦略を練り、戦術に落とし込み実行していく、新しい未来をつくりだしたい。



プロ人材Cさん



大手大型複合店舗の海外進出に携わり日本の逸品を海外へ提案・販路開拓の実務経験あり。

中国、台湾、マレーシア、カンボジアにおいてはサプライヤーやメーカーの開拓も行った経験を持つ。

プロ人材と進めた成果

- ・アジア進出の第一ステップとして「台湾」をターゲット市場に決定。
- ・海外展開の第一歩として、台湾向けクラウドファンディング(CF)を2025年夏に実施予定。
- ・CF実施に先立ち、台湾向けSNSアカウントを開設し、一定数のファンを獲得。
- ・登録者数の多い台湾インフルエンサーとのコラボレーションによるマーケティング活動を展開予定。
- ・CF終了後の現地イベントや取り扱い店舗との商談も現在進行中。

(株)SIMCLEAR 担当 竹山 092-332-3561

深江石町遺跡における「櫛」の出土について －弥生時代後期の先進文化の窓口「伊都国」を象徴する櫛－

国内初。楽浪郡^{らくろうぐん} から伊都国にもたらされた櫛^び(篋^び)が出土！！

深江石町遺跡^{ふかえいしまちいせき}2次調査で、弥生時代後期前半の1号土坑^{どこう}から、木製の櫛が発見され、その形状から、篋^び(髪^{かみ}の汚れを取るための櫛)であることが分かりました。このタイプの櫛は、楽浪郡(中国が朝鮮半島支配のために設置した機関)のお墓からも出土しており、楽浪郡を通じて「伊都国」にもたらされた櫛である可能性が極めて高いことが分かりました。また、篋^びの出土は、国内で初めてであり、先進文化の窓口「伊都国」を象徴する櫛が、楽浪郡からもたらされた重要な資料といえます。

- 【遺跡名】 深江石町遺跡2次調査
- 【場所】 糸島市二丈深江
- 【調査年度】 令和6～7年度(発掘調査は既に終了)
- 【出土地点】 1号土坑(長さ2.2m、幅2.35m、深さ35cm)
- 【時期】 弥生時代後期前半(約1950年前)

(1) 解説

深江石町遺跡2次調査は、深江湾に面した拠点集落の後背湿地^{こうはいしつち}を調査しました。この湿地帯にある弥生時代後期前半の1号土坑から、木製の櫛が出土しました。1号土坑は、木器が大量に出土しており、容器や舟形木製品、船の仕切板などの完成品のほか、未成品も含まれています。

出土した櫛は、櫛^{むね}が馬蹄形^{ばていけい}となり、櫛歯が密なものです。法量は、長さ7.1cm、幅5.5cm、厚さ5～1mmで、親歯2本と歯が70本あります。中国では櫛のことを「梳篋^{しゅうび}」と言い、古代中国(漢代)では、「梳^{しゅう}」と「篋^び」がセットで出土します。「梳」とは、櫛歯が疎で髪をとかすためのもの。「篋」は櫛歯が密で髪の毛の汚れを取るためのもので、今回出土した櫛は、その「篋」に該当します。



写真1 深江石町遺跡2次調査出土櫛①

楽浪郡は、紀元前108年に前漢の武帝が、朝鮮半島支配のために設置した出先機関で、お墓から

中国と同様の櫛が出土しています（石巖洞^{せきがんどう}205号墳、貞柏里^{ていはくり}51号墳など）。本例は、この楽浪郡を通じて「伊都国」にもたらされたと考えられます。

このような楽浪系の櫛の出土は、本例を含めて5例あり、その分布は、楽浪郡から「一支国（^{いきこく} 嵯岐島）」を経由して「伊都国」に至る当時外交ルート上と「伊都国」周辺に集中して出土しています。このうち、漢代に副葬される「篋」の出土は、これまでに例がありません。漢代のお墓では、化粧用品として銅鏡や櫛が漆奩^{しつれん}に納められています。銅鏡と同様に、楽浪郡からもたらされた重要な資料であり、「伊都国」が先進文化を受け入れる窓口であったこと証明しています。

	遺跡名	遺構名	長さ	幅	厚さ	櫛歯本数	時期	樹種
1	深江石町遺跡2次	1号土坑	7.1	5.5	0.5～ 0.1	70	弥生後期前半	
2	今宿五郎江遺跡第11次	M1203-19層	5.5	3.8	0.4～ 0.2	17	弥生後期中頃	ツバキ
3	今宿五郎江遺跡第11次	M1203-23層	8.8	4.7	0.3	15	弥生後期前半～後半	ツバキ
4	吉武高木遺跡第6次	28号甕棺墓	(4.0)	(5.5)	-	-	弥生中期後半	-
5	吉野ヶ里遺跡	S D0319	10.1	3.9		8	弥生後期前半	ツゲ
6	原の辻遺跡	環濠？	3.3	3.7	0.3	24	弥生中～後期	

表1 楽浪系櫛出土遺跡一覧表

（2）識者によるコメントを求める際

- ①西谷正（九州大学名誉教授）
- ②古澤義久（福岡大学人文学部歴史学科教授）

（3）今後の対応について

木製櫛は、薄くて脆いため、慎重に保存処理した後に公開します。

（4）写真の提供

写真1～7については、写真データーを提供できます。

【用語解説】

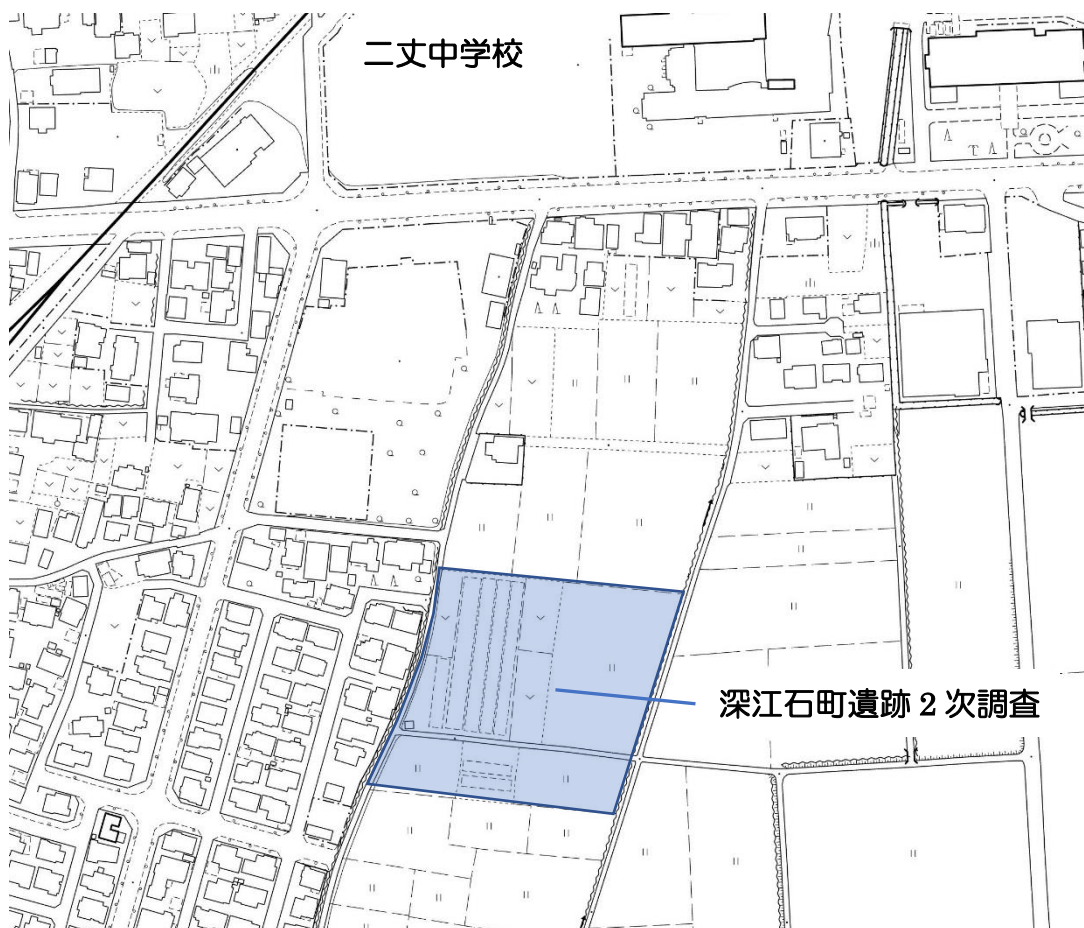
楽浪郡^{らくろうぐん}：漢の武帝^{かん}が朝鮮半島^{ぶてい}に置いた直轄地^{ちよっかつち}である四郡の一つ。現在の平城^{ピョンヤン}付近に置かれ、漢・後漢^{ごかん}・魏^ぎ・晋^{しん}の各王朝の朝鮮支配の拠点とされた。

土坑^{どこう}：ある程度の大きさ^{どこう}と深さを持った掘り込みのこと

漆奩^{しつれん}：漆塗りの箱

【問い合わせ先】

糸島市 地域振興部文化課
文化財係 担当：江崎靖隆
電話番号：092-332-2093
メール：bunka@city.itoshima.lg.jp



第 1 図 深江石町遺跡 2 次調査位置図



写真 2 深江石町遺跡 2 次調査と深江湾



写真3 深江石町遺跡2次調査全体写真 (C区)

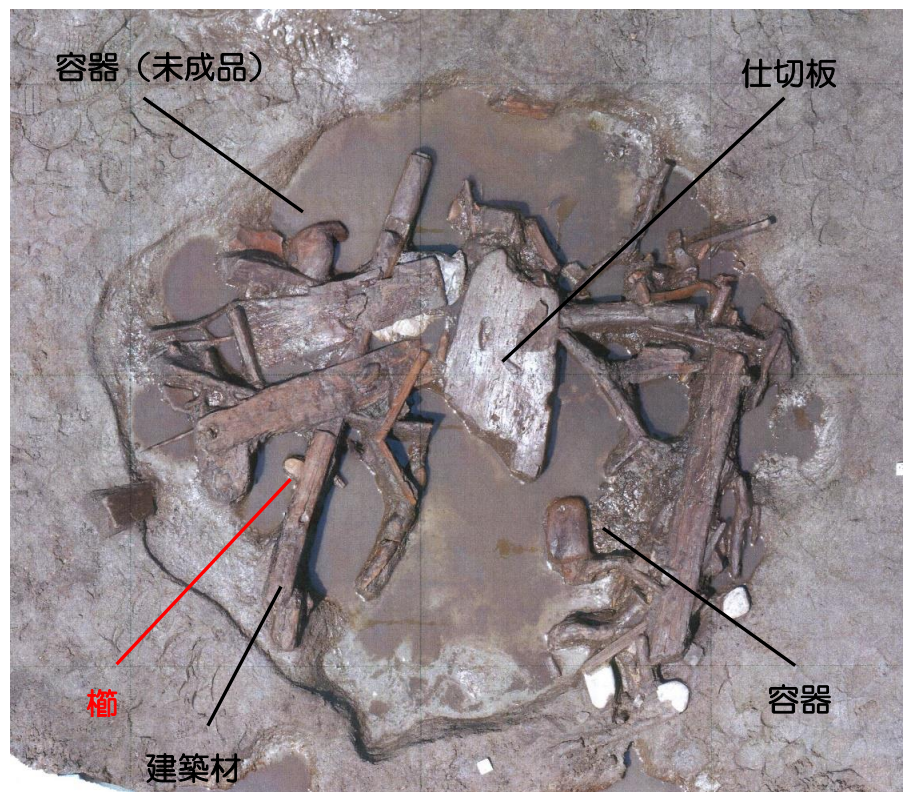


写真4 1号土坑木器出土状況 (長さ 2.2m、幅 2.35m、深さ 35 cm)



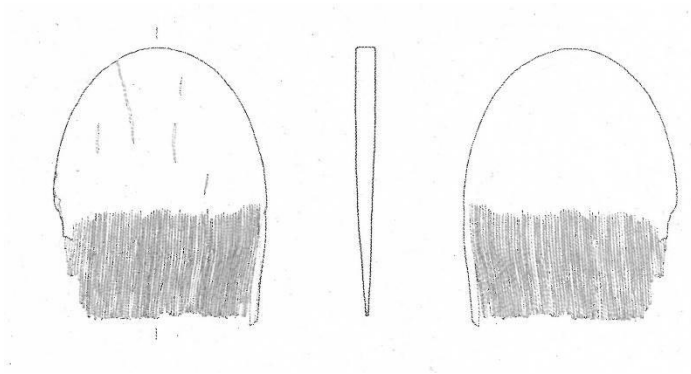
写真5 1号土坑櫓出土状況



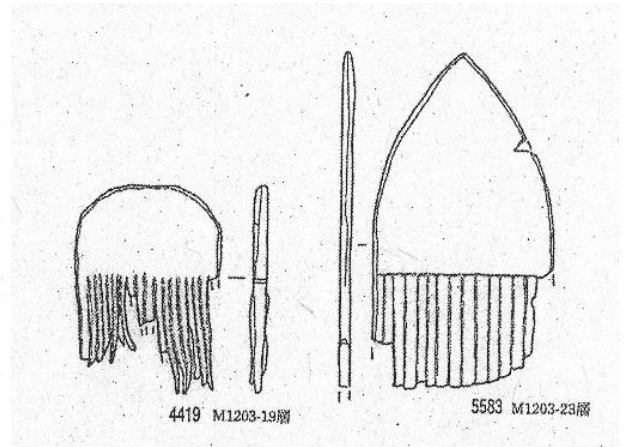
写真 6 深江石町遺跡 2 次調査出土櫛②



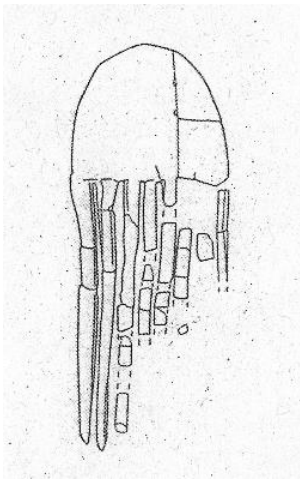
写真 7 深江石町遺跡 2 次調査出土櫛③



深江石町遺跡



今宿五郎江遺跡



吉野ヶ里遺跡



原の辻遺跡

第2図 国内楽浪系櫛出土例（図は1/2）



写真8 ^{せきがんどう}石巖洞205号墳
(楽浪王盱墓)



写真9 ^{ていはくり}貞柏里51号(楽浪)

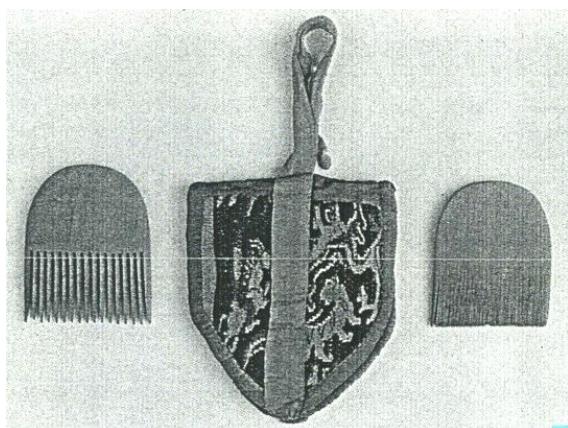
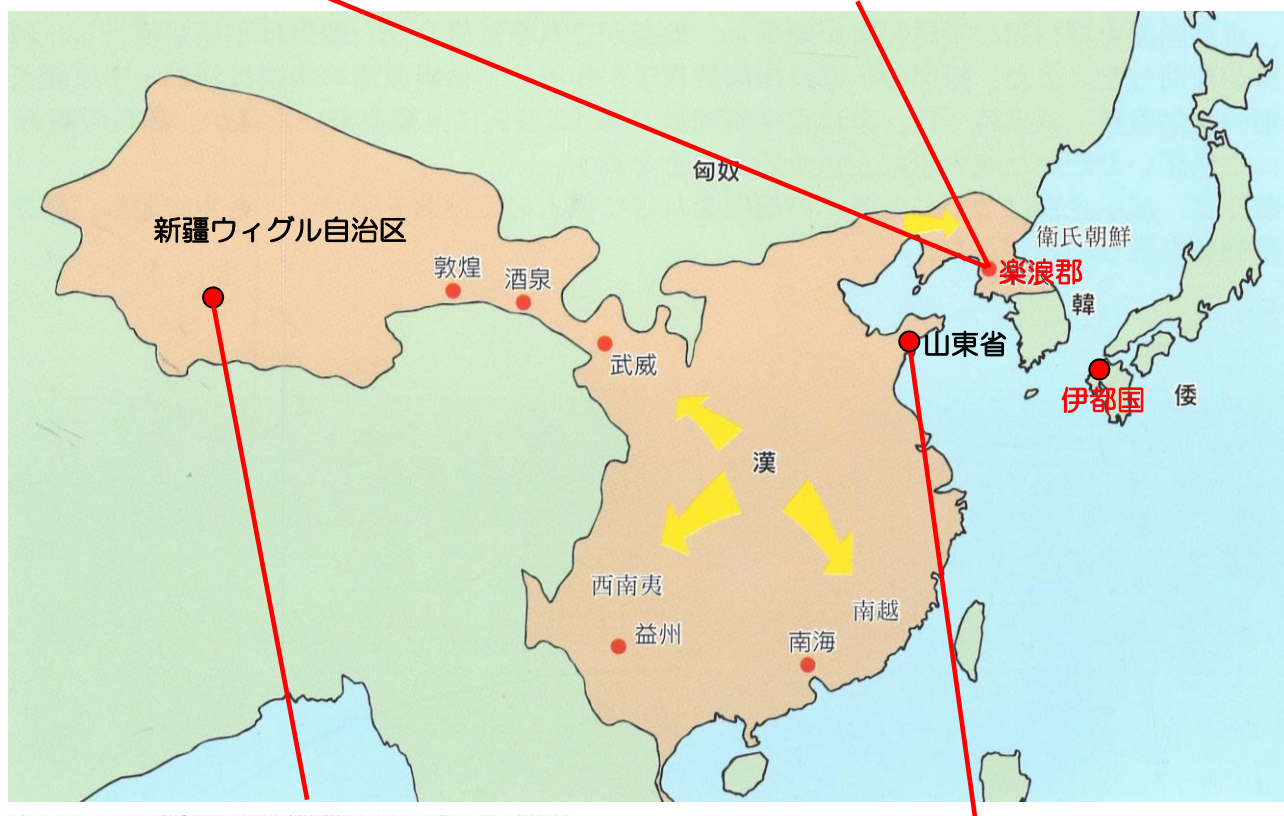
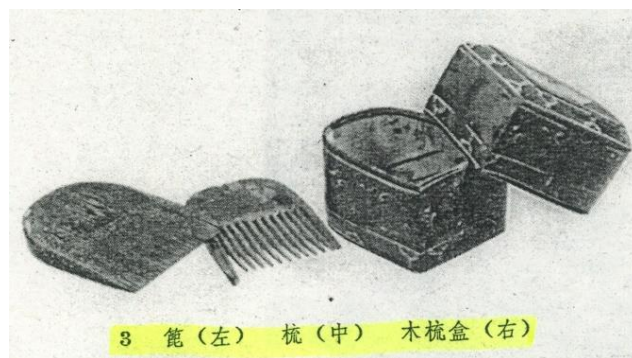


写真10 ^{しんきょう}新疆二ヤ遺跡 95MN I号墓地M8号墳



3 篋(左) 梳(中) 木梳盒(右)

写真11 山東省日照市海曲県西漢墓